

令和6年度

保谷第一小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 昔の生活を調べよう
(活動名)

ねらい： 昔の道具を使ってみることで、先人たちの苦労や工夫に興味をもち、昔の道具の工夫や様々な生活道具の移り変わりについて調べる。こうした活動を通して、昔の人たちの生活の様子を想像し、併せて地域の昔の様子に関心をもち調べていこうとする態度を育てる。

昔の道具を使ってみました。

洗濯板のつくりをじっくりと観察し

使い方を考えてみました。

「四角くくぼんでいるところは
どう使うのかな？」

「なぜ、溝は丸くほって
いるのだろう？」



「一枚一枚洗うのは
大変だったろうな」
「冬の洗濯はつらか
ったろうな」昔の人
たちの気持ちを想像
しました。



七輪体験も行いまし
た。火を使うので高橋
家屋敷林保存会の皆
さんや地域の方にも
ご協力していただき、
安全に体験活動を行
うことができました。



炭に火を着けるため子どもたちは苦労しました。
でも、炭火で焼いたおにぎりのおいしさに苦労を
忘れていました。使った炭を火消し壺に入れて再
利用する先人の知恵に感心していました。

まとめコラム

昔の道具を使うという体験を通して、子どもたちは昔の道具のすばらしさや使い方の難しさ、工夫や苦労など様々なことを考えることができました。その後の道具調べにおいても、実際に使うことはできなくても使い心地や苦労などを想像して学ぶことができました。